

第13回 臨床薬理試験研究会プログラム

日時：平成23年6月4日（土） 9:20~17:30（懇親会17:40~）
場所：北里大学 薬学部 コンベンションホール
東京都港区白金5-9-1
後援：一般社団法人日本臨床薬理学会

- 9:20 開会挨拶 熊谷 雄治（北里大学）
- 9:30 シンポジウムⅠ『臨床試験における有害反応の予測』—PV分科会共催企画—
座長：松本 範人（小野薬品工業株式会社）、蓮沼 智子（北里大学臨床薬理研究所）
1. イントロダクション「早期臨床試験における有害反応の予測と対処」
蓮沼 智子（北里大学臨床薬理研究所）
 2. 「腎毒性マーカーの探索」
小林 潔（ノバルティスファーマ株式会社）
 3. 「肝障害マーカー酵素としてのトランスアミラーゼの特異性について」
永田 健、菅井象一郎（日本たばこ産業株式会社）
 4. 「心臓安全性の予測」
池田 康彦（北里大学東病院）
 5. パネルディスカッション
- 12:30 昼食休憩
- 13:30 特別講演『基剤の役割、作用』
猪狩 康孝（武田薬品工業株式会社品質保証監査室室長総括製造販売責任者）
座長：熊谷 雄治（北里大学東病院）
- 14:10 休憩
- 14:30 シンポジウムⅡ『臨床試験におけるバイオマーカーの活用現状と未来』
座長：大橋 京一（大分大学）、渡邊 裕司（浜松医科大学）
1. 「なぜバイオマーカーを用いるか」
渡邊 裕司（浜松医科大学）
 2. 「炎症性マーカーの現状と未来」
植田 真一郎（琉球大学）
 3. 「可視化マーカーの現状と未来」
岩坪 威（東京大学）
 4. パネルディスカッション
- 17:30 閉会挨拶 熊谷 雄治（北里大学）
- 17:40 懇親会（北里本館 1階学生食堂）

